2016 January　Vol.47

# 広島西医療センターNEWS

発行所:独立行政法人 国立病院機構 広島西医療センター
〒739-0696 広島県大竹市玖波4丁目1番1号 TEL.0827-57-7151（代） http://www.hiro-nishi-nh.jp/

表　題：「金色の夜明け」　撮影日：平成28年1月1日　撮影者：吉松崇之（感染管理認定看護師）
メッセージ：「大竹市亀居公園から小方港を望む。例年になく強烈なご来光だったので、シャドウを活かした絵を収めることにしました」

## ■ CONTENTS ■

■年頭のご挨拶……2
■専修医の短期海外留学「観光編」……3
■PET-CTを使用した先進医療技術の導入……4
■感染管理研修を行いました……4
■地域のリーダーアラカルト（第四話）……5
■地域医療連携病院のご紹介 糸谷整形外科医院…6
■地域医療連携病医院のご紹介 大竹中央クリニック…7
■現場の取り組みを共有し安全な医療に繋げ!…8
■2015大竹市ふれあい健康・福祉まつり報告…10
■平成27年度集団災害医療救護訓練を見学して…11
■第13回国立病院看護研究学術集会に参加して…11
■マンモグラフィ技術講習会を受講して ……12
■栄養士のつぶやき ……12
■あゆみ病棟お楽しみ会 ……13
■若葉お楽しみ会 ……13
■患者図書室から ……14
■少し足をNova Savor ……15
■地域医療連携室実績報告 ……15
■編集後記 ……15
■外来診療担当医表…… 16

## 病院理念「患者さんと共に」

### ■基本方針

1. 患者さんの意思の尊重と信頼関係の確立
2. 地域に密着した良質で安全な医療の提供
3. 予防医療への貢献
4. 医療の質の向上のための研鑽
5. 経営基盤の確立

### ■「患者の権利」宣言

1. 個人の尊厳の権利
2. 良質な医療を平等に受ける権利
3. 自分の受けている医療について知る権利
4. 自分の意見を表明し、自己決定する権利
5. 個人のプライバシーが守られる権利

公認キャラクター
「にっしーくん」

# 広島西医療センター 2016年 年頭のご挨拶

院　長　奥　谷　卓　也

平成28年（2016年）あけましておめでとうございます。みなさん、良い年を迎えられたことと思います。

昨年はラグビーワールドカップ、男子フィギアスケートなどで日本勢が大活躍しました。さらに、広島県内では、男気復帰の話題で始まり、高校駅伝での偉業、そして何と言ってもサンフレッチェ広島のＪリーグ年間優勝、世界３位で幕を閉じ、わたくしのようなスポーツフリークには大変良い年でした。

当院は昨年、創設10周年の節目を迎えました。平成17年7月1日に、其々昭和20年来の歴史を刻んだ国立療養所原病院と国立大竹病院の2つの病院が統合し、一般440床の広島西医療センターとして、新たな1ページを開きました。

統合時の全職員数は約430余名でしたが、今では700名弱まで増加し、医師だけをみても、30名そこそこで非常に苦労していた統合時に比べ、現在では50名を超え、初期臨床研修医も来年度から定員増の1学年6名（2学年で12名）を募集できるまでになりました。地域に如何に必要とされているかを表す指標の一つである病床利用率についても年々右肩上がりで、H26年度の利用率は94.4（稼働率96.7）%でした。これは国立病院機構中国四国管内22施設の中で一番高い数字でした。

提供する医療の質については、みなさんのご評価をお聞かせ願いたいところですが、地域医療支援病院、災害拠点病院、救急告示病院、へき地医療拠点病院、難病医療拠点病院、在宅療養後方支援病院などの機関指定を受けており、地域の中核病院として地域社会に必要とされる医療の提供を続けるよう努力してきました。

人材確保・育成に関しては、初期臨床研修医、看護師をはじめとする医療スタッフの確保・教育には、従来から地域・機構内のオピニオンリーダーとしての役割を担っており、その実績も高く評価されております。また、病児・病後児保育施設として市から委託されるなど、働く環境も整備し、「是非広島西で働きたい」と思う医療人が少しでも増えるよう努力してきました。

研究については、平成27年度から、臨床研究部が本部承認され、臨床研究部長を一名配置することができました。厚労省だけではなく、文部科学省の科学研究費の取得も可能になり、早々実績も残しております。

国立病院機構は病院毎に病院評価を行っており、経営の効率性・成長性・健全性などや診療の質・臨床研究・教育・地域貢献など医療に関する項目について点数により毎年評価しております。当院は平成26年度91点で全国143病院中7番目に高い評価（AA評価）をいただきました。

このような本業以外にも、恒例となった患者・地域住民のみなさん、当院職員参加の広島西医療センター祭りは盛況のうちに8回を数え、他病院に先がけ誕生したゆるキャラ「にっし～くん」は先日、東京の機構本部まで出張し大暴れするなど、相変わらず、ゆるい話題にはこと欠かないのも、当院の特徴であると思っております。

広島西医療センターの10年間、まずは、病院の良い方向への変化をみなさんと一緒に喜びたいと思います。みなさん、10周年おめでとうございます。

そして、これからも地域医療の強力な担い手として、「患者さんと共に」安全・安心な医療の提供をお約束すると同時に、職員がみんな「元気で幸せに」働き、過ごしていけるよう努めてまいります。

みなさんにとっても今年も良い年になりますよう祈念いたします。

# 専修医の短期海外留学『観光編』

泌尿器科　後期研修医　福　島　貴　郁

今回で最後、ロサンゼルス紀行3回目のご報告です。観光について書きます。7週間もあり、祝日も2回あったので、かなり遊びました。また、レンタカーを借りていたことで行動範囲は広がりました。ハリウッドやビバリーヒルズといった観光名所はもちろん、サンディエゴというちょっと離れた都市に行ったり、ディズニーランドやユニバーサルスタジオ、国立公園にも行ったりしました。

ですが、車は右側通行で、左ハンドルという日本と全く違う形でしたし、右折時は赤でも右折して大丈夫というルールがあったり、酒も少しなら飲んで運転していいというルールがあったりと色々と違いがありすぎて初めはかなり困りました。途中からはかなり慣れましたが。

ディズニーランド

色々と遊ぶ所はあって、テーマパークでのおすすめはディズニーランド。夢の国ですが、入場料は100ドルと高めでした。乗り物は比較的乗れて、待ち時間もそれほど長くなかったです。

また、Six Frags Magic Mountainという遊園地も行きましたが、こちらは悪夢のような国でした。絶叫系ばかりで、僕は特に写真の緑のコースターが一番重力を感じました。

シックスフラッグス

アメリカでいいなと思ったのは、国立公園です。カリフォルニア州にはたくさんの国立公園があります。今回の研修中に2箇所の国立公園を訪れました。1箇所目はジョシュアツリー国立公園。写真のような変わった木がジョシュアツリーです。砂漠地帯で、暑かったですが、夜には満天の星空が見え、最高の場所でした。

ジョシュアツリー

ジョシュアツリー星

2箇所目はヨセミテ国立公園です。車で片道5時間半かけて行きました。もちろん1泊しましたが。初夏ということで、天気も良く、2日間で計10時間のトレッキングも楽しめました。絶景でしたが、久々の登山はきつかったです。

少ししか紹介できませんでしたが、その他にも観光やショッピングをして楽しめました。もし、より詳しく話が聞いてみたいという人がいたら是非一度広島西医療センターに遊びに来てください。その時は夜に酒でも飲みながら、たくさんの写真とともにいろんな話をしましょう!!

ヨセミテ

ヨセミテ滝

# PET-CTを使用した先進医療技術の導入

このたび、国立研究開発法人長寿医療研究センターと連携し、PET－CTを使用した「アルツハイマー病」の診断に関する共同研究を行うこととなりました。この医療技術は先進医療として届出がされているため、通常では保険適用外となるPET－CTによるアルツハイマー診断を保険診療と併用することが出来ます。（混合診療）

今回の研究におけるPET－CTの使用目的はアルツハイマー型認知症と非アルツハイマー型認知症(前頭側頭葉変性症)の鑑別になります。現在、当該疾患に対して行われている脳血流SPECTとの画像診断と比較して、鮮明な画像が得られ、高い精度で認知症の鑑別診断が可能であるため治療方針の決定に有効であり、また、早期病変の検出にも優れているとされています。

**先進医療技術名：**
**「FDG を用いたポジトロン断層撮影によるアルツハイマー病の診断」**
※先進医療とは、厚生労働大臣が定める高度な医療技術を用いた診療であって将来的に保険診療の対象となるべきものであるか否かについて、適正かつ効果的な医療を行う観点から評価するものである。

(27)　2015年(平成27年) 12月12日(土曜日)　中国新聞

## アルツハイマーPETで診断

### 症例データ 2年間収集

大竹の西医療センター研究機関に選定

大竹市玖波の国立病院機構広島西医療センターが、国立長寿医療研究センター（愛知県）の進める陽電子放射断層撮影装置（PET）を使ったアルツハイマー病の前兆診断の研究機関に広島県内で唯一、選ばれた。2年間、症例データを集め、治療への活用を目指すという。（松永麗道）

アルツハイマー病の診断に使うPETを配置する研究室

広島西医療センターによると、アルツハイマー病は、たんぱく質の蓄積が原因の一つと考えられている。長谷川聡チーフ（研究員）の田中一さんらの研究を参考に、従来は検出できなかったアミロイドベータ関連タンパク質を検出する手法を開発した。昨年11月、専門誌に発表した。

PETによるアルツハイマー病の診断は現在、保険診療の対象外。今回の長寿医療研の取組みは、将来的に保険診療の対象となるかを調査する厚労省の研究班が定めた「先進医療」に当たり、保険診療との併用ができる。研究費の助成があるため、診断を受ける人の自己負担はほぼないという。

広島西医療センターは、勤務の一年間で10～20人程度を対象に検査し、2年目に結果を出せるデータを出す。相当する各病院の研究室で進捗状況は「アルツハイマー病を完治する治療法はないが、進行を抑える薬剤の開発は進む。早期の早期発見ができれば、適切な対応ができる」と研究の意義を語っている。

研究には全国11機関が参加し、中国地方ではほかに岡山旭東病院（岡山市）、川崎医科大付属病院（倉敷市）が参加している。

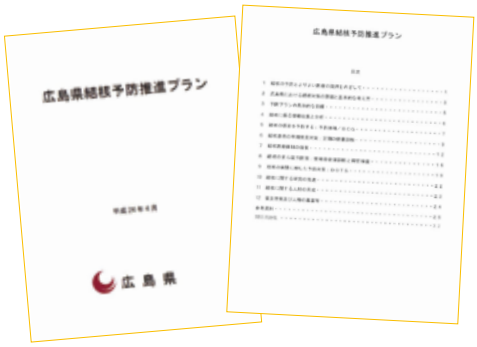
平成27年12月12日　中国新聞

現在、アルツハイマー病を完治する治療方法はありませんが、進行を抑える薬剤の開発や治験はそのスピードを増しています。超高齢化社会を迎え対象となる方が増加するなか、病気の前兆や早期発見をする方法が確立すれば、適切な対応が出来ることになることから、この先進医療技術にも大きな期待が寄せられています。

# 感染管理研修を行いました

去る11月5日㈭、感染管理研修を行いました。この度のテーマは「結核」でした。この度は、外部から講師を招いて、結核の基礎的な知識から最近の動向、最新の検査・診断方法まで幅広く講演頂きました。

結核というと、時代劇や歴史もののドラマ等で度々登場する疾患という印象が強いと思います（戦後すぐくらいまでの間は、日本人の死亡原因の第1位）。現代では、治療薬も複数開発され、結核が原因で亡くなる方はぐっと減っています（死亡原因の第26位）。しかし、今でも毎年2万人余りの方が、新規の結核患者として登録されています。よって、「過去の病気」と言って軽視するのは、やや危険といえます。結核は、呼吸器症状（せき）により拡散されること、空気感染で拡大する感染症であること、初期症状が感冒（カゼ）と類似しているため発見が遅れがちになることから、制圧するのが相当困難な疾患と言えます（特に、人口密度の高い日本ではその傾向が強く出ると言われています）。しかし、皆が「結核は過去の病気」というイメージを捨て、『長引く咳は結核かもしれない』という意識をもっておくだけでも、患者数の減少につながっていくと思います。少しでも気になるときは、かかりつけの医院等に相談されることを強くお勧めします。




※結核についてお調べになりたい方は、「公益財団法人結核予防会」のWEBページや、各自治体の保健所で情報を得ることができます。

# 地域のリーダー・アラカルト（第四話）
## 『歩　　く』

大竹市立玖波中学校 校長
久 保　　忠

広島西医療センターには、本校の生徒が大変お世話になっております。特に毎年行っております大竹市キャリア・スタート・ウイーク（大竹市中学生職場体験）で生徒を受け入れていただき貴重な経験の場となっています。ここで職場体験した生徒たちは、医療現場やそこで仕事をすることの厳しさ、むずかしさを肌で感じる一方、進路選択を考える一つとして将来は医療機関で働きたいとの希望を語ってくれます。広島西医療センターでの体験が生きた学習となって生徒たちの心に種をまいてくれたのだと感じ、たいへん感謝しております。

さて、今回原稿の依頼をいただき日頃お世話になっているお返しに少しでもなればと思いペンを取りました。

私の住まいの裏手には、太田川上流域の支流である水内川が流れています。幼い頃からここで育った私にとって、この川はたいへん親しみ深くなくてはならないものです。

私は、この水内川に沿って自宅から上流へあるいは下流へと歩きます。川のそばを歩くというのは科学的に言えばマイナスイオンを体に受けながらということになるのかも知れませんが、そんなことは知らなくても川の音や川辺の風景、水の輝きなど心地よいものを自然に感じとっているのだと思います。昨今は街中でもウオーキングを実践されている方が多くいらっしゃいます。目的もさまざまだと思いますが、私の場合鍛錬のために歩いているというわけではありません。休日家にいるときやたまに帰宅時間が早いときなど時間が空いていたら自然に足が動いています。近所の方から「よう歩きよるね」「何キロぐらい歩きよるん?」「どこまで歩くんね!」とよく声をかけられます。特に目標を決めているわけではないので、「そのへんまでです」と答えることがほとんどです。歩く距離は、短い日もあれば長い日もあります。

下流へ向かう道は子どもの頃小学校へ通った道でもあるので、想い出の道にもつながります。小学校のとき、通学の途中で山を見るたびに気になる岩があり、その岩がどんなふうに立っているのかどうしても知りたくなりました。そしてある日一人で一時間近くかけて崖を登り、その岩の上に這い上がってみたのです。その岩は近くまでくると下から見たとき以上に大きくそそり立っており、岩の裏側にまわってやっと上まで行くことができました。そして岩の上からは真下にいつもそばにある水内川が曲がりくねりながら流れていく様子が手にとるように見えました。岩のまわりにはニッケの木があり、とてもいい香りがしたことを記憶しています。

歩くときは、妻と二人のときもありますがたいていは一人。相手のペースに合わせる必要もなく、右へ行くか左へ行くかも自由一というわけで気ままに歩ける「孤独散歩」に出かけるのです。寒い日でもしばらく歩くとじんわり体が温まってきて、そのあたりから普段はごちゃごちゃと片づかない頭の中の風通しがよくなってくる気がします。そしてそのすき間から子どもの頃のことがポツリポツリと浮かんできます。早春の川辺りでは、ネコヤナギが白く柔らかな芽を出している様子をながめることができますが、私はこの木を裂いて中にいる虫を取り出しヤマメ釣りの餌にしていました。夏は友釣りで鮎をとって小遣いかせぎをしたり、岩陰で天然記念物のオオサンショウウオが泳いでいるところを見かけてびっくりしたことなど次々と思い出されます。また、淵のそばを歩いていると大きな黒い鯉やどこから逃げてきたのか錦鯉がゆったり泳いでいるのに出くわすこともあります。水の流れがゆるやかで静かな深い色をした淵はいくつかあり、夏には友だちと泳ぐのにかっこうの場所でしたが、たびたびの大水で少しずつ様子が変わっていき今では歩いて渡ることができる場所さえあります。台風や大雨のときは濁流が一気に水位をあげて恐ろしい勢いで流れ下りあっという間に命を飲み込んで悲しい思いをしたこともありました。

季節や天候、時間によってさまざまな表情を見せる川に沿って歩いているといつの間にか自分の中でスイッチが切り替わりとてもリラックスした状態になっていると感じることができます。

思い出すことは取り留めのないことであったり、同じことの繰り返しであったりすることも多いのですが歩いていると不思議なことにひょっこりといいアイディアが浮かんできたり、気になっていたことがそれほどのことではなく気が楽になったりということもしばしばです。どういう歩き方が良いかはわかりませんが、歩いているといい方向に思考が進んでいる自分が発見できます。

家の近くに川があることに幸せを感じながら、これからも歩いていきたいと思います。

玖波中学校

# 地域医療連携病院のご紹介①　医療法人社団 いちご会　糸谷整形外科医院

**【診療科目】**整形外科
**【院 長 名】**糸谷　富男
**【住　　所】**〒739－0612　大竹市油見１－９－１２
**【電話番号】**０８２７－５３－１１０７
**【診 療 表】**

| 診療時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 9：00～12：30 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 14：30～18：00 | ○ | ○ | ○ | ／ | ○ | ／ |

※木曜日・土曜日の午後、日曜日、祝日は休診。

**【クリニックの特色】**

**○地域とともに**

**◎糸谷整形外科医院**

皆様のお陰を持ちまして、当院は開設30年になりました。10年前にゆうみデイセンター開設に伴い、現在の油見地区に移転しました。

業務内容に関し、当初は事故などによる骨折等の外傷が多くありましたが、最近では膝・腰など加齢による運動器疾患が多くなりました。今後は患者さんの高齢化に伴い、運動器疾患予防が重視されつつあり、当院では予防にも留意した運動療法を取り入れております。

**◎ゆうみデイセンター**

「転倒予防、閉じこもり防止」を標榜し、10年前に付設した通所サービスです。

高齢者が住み慣れた地域や自宅で生活できるよう、生活不活発病防止、健康寿命延伸の為、生活の中に運動を取り入れることが必要です。

ゆうみデイセンターでは、理学療法士（PT）主導の下で、パワーリハ機器を取り入れ、介護予防訓練を積極的に行っております。

※先日の鬼怒川氾濫災害でも、避難所における「生活不活発病」対応がTVで問題になりました。高齢者の持病や環境の悪化などが誘引となり、身の周りのことが出来ない・歩けない→要介護　の悪循環が起こります。予防の為には、ご本人の生活全体を活発する（運動を取り入れる）、周りの人の早期発見・早期（回復）対応が必要です。

**○地域連携室に感謝**

整形外科や放射線科の先生方には、いつもお世話になり有難うございます。特に病院の取次ぎ窓口に当たる連携室は、いつもご面倒をお掛けし大変恐縮しております。

これからも宜しくお願いいたします。

## 地域医療連携病医院のご紹介② 大竹中央クリニック

**【診療科目】**外科、胃腸科、肛門科、透析
**【院 長 名】**荒田　寿彦
**【住　　所】**〒739－0611　大竹市新町１丁目１－１－２５
**【電話番号】**０８２７－５２－６２００
**【診 療 表】**

| 診療時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 9：00～12：00 | ○ | ○ | ／ | ○ | ○ | ○ |
| 15：00～18：00 | ○ | ○ | ／ | ○ | ○ | ○（※ 14：00～16：00） |

※水曜日、日曜日、祝日は休診

**【診療内容・特徴等】**

JR大竹駅から徒歩30秒。ビルの３階は私達の大竹中央クリニックです。

外科、胃腸科、肛門科を標榜しています。上部、下部内視鏡検査を行い、肛門科では日帰り手術を行っています。

いわゆる「家庭医」として地域の住民と視点を同じにして、患者さんの体温に触れ、呼吸を感じ、拍動を確かめながら診察するようにしています。

大竹市で開業し、24年目を歩んでおります。人工透析もコンソール23台で行い、この地域の慢性腎不全患者さんのお世話をさせていただいています。

## 第6回休日前立腺がん検診

前立腺がんの早期発見を目的に前立腺がん検診を下記日曜日に実施します。
平日は仕事で忙しくて受診できない方ぜひこの機会をご利用ください。
当日は淺野診療部長による講演会もございます。

**■日　　時**　平成28年3月6日㈰　9時～ 15時
**■場　　所**　広島西医療センター
**■対　　象**　40歳以上の男性
**■検 診 料**　1,500円
**■内　　容**　問診・血液検査・下腹部超音波（前立腺）検査
**■申込方法**　広島西医療センター健診センター　平日13時～ 17時
TEL0827-57-7183（内線2364）または0827-57-7151
**■講 演 会**　演　題：「がんの成り立ちと人間の寿命」
講　師：淺野　耕助診療部長
時　間：11時～ 12時
場　所：広島西医療センター中央診療研修棟3階大講堂
＊予約不要・参加無料

# 『現場の取り組みを共有し安全な医療に繋げ！』

セーフティーマジメント部会　医療安全管理室

今回で7回目となりました医療安全取り組み発表が11月25日に行われました。
投票結果のベスト5にプレゼンテーションをしてもらい、入賞のコメントを頂きました。

## おめでとう!!

- 1位　検査科『安心してください。説明書ありますよ!』
- 2位　東3病棟『転倒・転落を防ぐためのベッド周囲の環境整備』
- 3位　事務部『電気設備保安点検時における取り組み』
- 4位　医局『研修医１年目が感じたこと』
- 4位　東2病棟『ドレーン・チューブ類の使用管理と与薬の手順は遵守されているか』

Congratulations!!

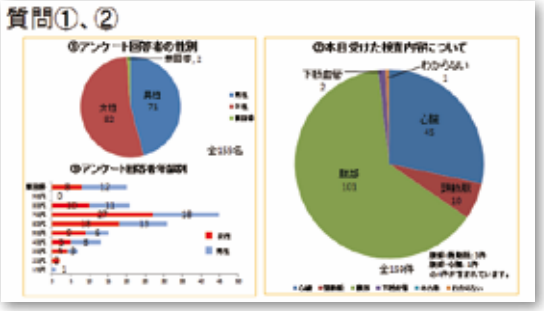
## 2年連続1位獲得　検　査　科

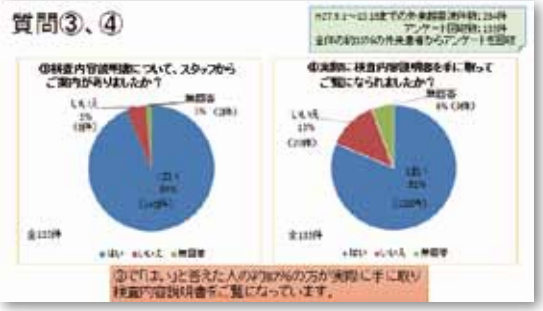
「患者サービス」をテーマに、昨年に引き続き医療安全取り組みをしました。昨年のアンケートより、①患者さんがエコー検査について曖昧な理解をしている、②検査内容説明書の要望の2点が得られました。

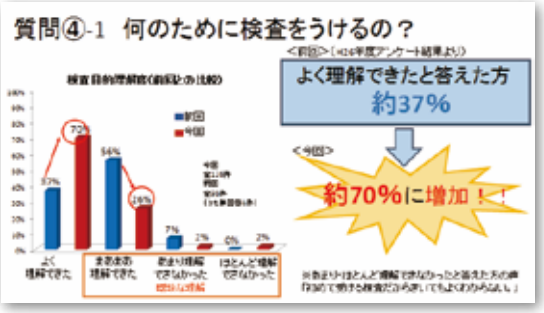
そこで、エコー検査について検査内容説明書を作成し、説明書を用いてスタッフが説明を行い、患者さん自身に読んで頂き検査についての理解がどのくらい変わったのかアンケート調査を行いました。その結果、昨年に比べ「よく理解できた」と回答した人が約2倍に増加しました。説明書を用いて検査説明をすることで患者さんの顔の表情が明るくなるのを感じ、安心して検査を受けてもらえることを実感しました。

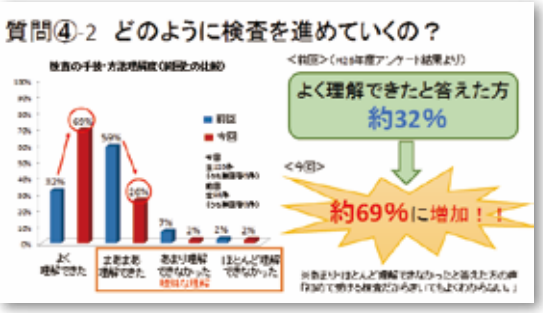
今後の課題として、患者さんの協力が必須であるトレッドミル運動負荷試験・肺活量・聴力検査などの検査内容説明書を作成し、検査内容を十分理解の上、安心して検査を受けて頂く体制を構築していきたいと考えています。

**『安心してください。来年も続けますよ！』**



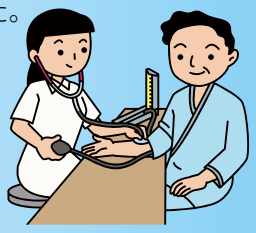



## 2位　東3病棟

副看護師長
**河村　　洋**

当病棟は血液疾患患者さんが多く、疾患や治療により血小板減少や凝固異常が起きる可能性があります。転倒が発生すると身体に及ぼす影響が大きく、患者さんに重大な合併症が起きてしまう可能性があります。

今回、当病棟では安全な看護が提供出来るように、ベッド周囲の環境整備について取り組みました。



## 3位　事務部

外来係
**花房　　駿**

医療機関において重要な役割を担う電気設備。その精度を高め、より安全に病院を運営するために停電して点検作業を行っています。

しかし、この停電作業への理解があまりないというのが現状です。この発表を通じて理解してもらう事ができてよかったです。次は1位を狙います！

## 4位　医　局

臨床研修医
**長坂　啓司**

研修医として働き始め半年の間に、自分達が実際に「ひやり」とした体験について話し合い、どうすれば防げるのか考えました。

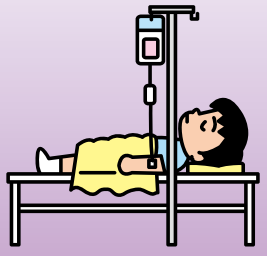
今回、勉強する機会を与えて頂いたばかりか、賞までいただけたことは「本当に幸せ」と感じております。まだまだこれからも多くの「ヒヤリハット」を経験することになると思います。ポスター作りをきっかけに危険を予測して回避できるような医療人になろうと思います。

## 4位　東2病棟

副看護師長
**岡本　道子**

「マニュアル・手順を遵守し、医療安全風土を醸成する」を目標に、ポスター掲示による注意喚起、輸液ポンプ使用時のチェック表のワンデーチェック、与薬の確認行動のアンケートの実施など、日々取り組んできました。

おかげで「2年連続の入賞!」し、師長をはじめスタッフ一同嬉しく思っています。これからも、安全な医療の提供を意識し、マニュアル・手順の遵守を実践していきます。



# 2015大竹市ふれあい健康・福祉まつり報告

平成27年10月25日(日)にサントピア大竹(大竹総合福祉センター)で開催された「2015大竹市ふれあい健康・福祉まつり」に当院から看護師11名、管理栄養士2名、理学療法士2名、事務職員1名の計16名が参加し、延べ約1,000人の地域の方に身体測定、血圧測定や運動・栄養相談を行いましたので報告致します。

**実施内容及び来場者数**

| | 内　容 | 担　当 | 参加数 男性 | 参加数 女性 | 参加数 合計 | 昨年度参加数 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 身体測定 | 看護師・事務部 | 29 | 140 | 169 | 190 |
| 2 | 体重・体組成 | | 32 | 134 | 166 | 190 |
| | 体組成・説明 | | 37 | 132 | 169 | 187 |
| 4 | 血圧測定 | | 31 | 132 | 163 | 178 |
| 7 | 運動相談 | 理学療法士 | 24 | 103 | 127 | 74 |
| 8 | 栄養相談 | 管理栄養士 | 25 | 119 | 144 | 110 |
| | 延べ来場者数 | | 178 | 760 | 938 | 929 |

入山大竹市長による開催あいさつ

**結果・感想（来場者の反応等）**

○60～70才代の方の来場が多く、リピーターの方が今年も多かった。
○結果が良かったと喜んで帰る人が多かった。
○病院の人が来ていると聞いて来てみた。

**気づき・次回に活かせる点**

○開会式終了直後から測定コーナー・相談コーナーとも大盛況であった。(9:30～12:00がピーク)
○入口から身長測定して体組成測定の流れであったが流れが悪かったように思う。配置を検討する必要があった。
○運動習慣のある人が多かった。下肢筋力が少ない人が多かった。
○男性より女性の方が健康に関心が高いことを知ることができた。
○体組成測定の結果用紙がとりにくかった。

身体等測定

運動相談

血圧測定

栄養相談

# 平成27年度集団災害医療救護訓練を見学して

管理課長　植　田　誠　司

広島県では、災害時における医療救護活動について、平成14年より毎年各医療圏を持ち回りで集団災害医療救護訓練を実施しています。

平成27年度の広島県集団災害医療救護訓練は、昨年の10月10日㈯8時30分から中国労災病院で執り行われました。28年度は広島西医療センターが担当施設に当たっているため、当院から奥谷院長を筆頭に15名のスタッフが見学で参加しました。この訓練は、災害時における、医療救護活動に対する関係諸機関（広島県、広島県医師会、市町村、消防局、警察、自衛隊、災害拠点病院及び協力病院等）の体制を強化すると共に、医療救護活動が、円滑かつ効果的に実施されるよう、必要な知識の習得や技術の向上を目的としています。

訓練当日は病院スタッフ、DMAT隊員、消防救急隊、患者役、見学を含め約380人のスタッフが、災害対策本部やトリアージエリアに分かれ、日頃から練習してきた成果を発揮され、来院する救急患者に対して、迅速でかつ適切な治療にあたっていました。見学していた私たちも息をのむような場面が数々あり、その中でも落ち着いて、行動されている職員の動きは、よく訓練され熟成されたものでした。

当院は、来年度の訓練に向け、病院機能に見合った内容で練習を重ね、災害に対する心構えや救護方法等を学びチームワークで臨みたいと思います。

災害対策本部

患者受入状況（玄関）

赤エリア

黄エリア

緑エリア

赤エリア受入状況

# 第13回国立病院看護研究学術集会に参加して　In 幕張メッセ

3あゆみ病棟　安　藤　洋　子

千葉で開催された第13回国立病院看護研究会学術集会に参加しました。

「快適な日常生活が過ごせるように患者に応じた人工呼吸起用マスクの選択～車椅子乗車時に新しいマスクを使用してみて～」と題し発表してきました。患者様にとって生活の場でもある入院生活の中で、24時間使用しているマスクは、人工呼吸による安楽をもたらすだけでなく、煩わしさや皮膚損傷などを引き起こします。少しでも快適にと考え取り組みました。

初めての院外発表で終始緊張しましたが、会場の方々に違った視点から質問をいただき大変勉強になりました。また他の発表からも刺激を受けました。今回の研究では、患者さんにとっても良い結果を導くことができました。今回得た知識を今後も活かしていきたいと思います。ご協力くださった皆様ありがとうございました。

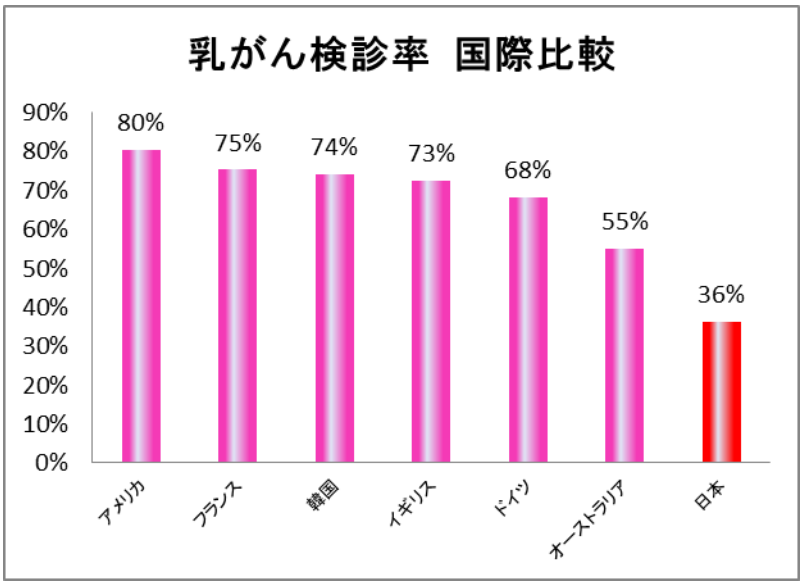
# マンモグラフィ技術講習会を受講して

放射線科　西　まどか

今回、11月21日、22日に高知県で行われた四国マンモグラフィ技術講習会を受講させていただきました。マンモグラフィ技術講習会とは、NPO法人日本乳がん検診精度管理中央教育・研修委員会が医師・技師に対して診断精度を一定に保つための教育研修を目的に開催している講習のことです。まず、撮影技術やマンモグラフィの基礎、撮影機器、品質管理などを2日間の講習で学び、最後に読影試験と筆記試験を行います。そして一定の基準に従って評価を行い、**試験成績認定証**が発行されます。今回、私は**A評価**をいただき合格することができました。

今回2日間の講習に参加して、教科書だけでは知る事ができないことを多く学びました。この知識を伝達して、放射線科全体のマンモグラフィに対する知識と技術の向上を図りたいと思います。また当院放射線科の女性技師は一人しかいないため、マンモグラフィ認定技師として自覚を持ち、今後も勉強を続けてスキルアップを目指していきたいと思っています。

今、日本の女性のがんで一番罹患率が高いのが乳がんです。統計では12人に1人が乳がんを発症するとされていて、罹患率も死亡数も増え続けています。しかし、日本の乳がん検診受診率は欧米に比べて低く、30 ～ 40%ほどしかありません。乳がんは早期発見できれば治る確率の高い病気なので、みなさんもぜひ乳がん検診を受けてください。




最後になりましたが、今回の講習を受けさせてくださった院長先生をはじめ関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。

（現在、水曜日から金曜日まで女性技師が撮影を担当しておりますが、勤務の都合上撮影できないことがありますのでご了承ください。）

# 栄養士のつぶやき⑫

## ＊1月11日は「鏡開き」の日です！！＊

鏡開きは神様にお供えした鏡餅をお雑煮やぜんざいなどにして食べて、祝う行事です。神様に供えた食べ物には力が備わると考えられ、神様や仏様に感謝しながら食べることにより無病息災を祈願します。

さて、みなさん今年お雑煮は食べられましたか??

お雑煮は地域性やご家庭によって色々な特徴があると思います。代表的な物として、しょうゆ仕立てのすまし汁に焼いた角餅を入れた関東風、白味噌仕立てで丸餅を入れた関西風があります。また、牡蠣や穴子を入れた贅沢なお雑煮（広島県）や小豆を入れたおしるこの様な小豆雑煮（島根県）、あんこ餅を入れた白味噌仕立てのお雑煮（香川県）などがあります。鏡餅で野菜たっぷりのヘルシーお雑煮を作ってみるのもいいですね。

今年1年、皆様が健やかに過ごせますように!!

# あゆみ病棟お楽しみ会

## ～とにかく明るいお楽しみ会～安心してください、楽しいですよ～

保育士　飯　橋　　敦

平成27年12月9日㈬に、慢性病棟のあゆみ病棟にて、「とにかく明るいお楽しみ会～安心してください、楽しいですよ」のテーマのもと、お楽しみ会を実施しました。午前中は、午後デイルーム参加が難しい方のところへ、“とにかく明るい演奏隊”という、療育指導室職員扮するドリフターズがやってきて、コントをやり…「聖者の行進」を真面目に演奏して回りました。

1あゆみ病棟

2あゆみ病棟

3あゆみ病棟

午後からの内容は各病棟それぞれで、1あゆみ病棟は、今年の話題のスポーツニュースということで、あの話題のスポーツ選手がやってくる、2あゆみ病棟は、DVDによる1年間の振り返り、3あゆみ病棟は、利用者によるカラオケ大会を行いました。また、どの病棟も病棟看護師による出し物があり、大盛り上がりでした。そして、午前中に病棟を回った“**とにかく明るい演奏隊**”も各病棟順番にやってきて、コントと演奏を行い、大成功!拍手喝采でした!

今年もご家族・病棟スタッフの皆様の協力により、“とにかく明るい”お楽しみ会となりました。本年も“**とにかく明るい**”1年にしていきたいと思います。本当にありがとうございました。

# 若葉お楽しみ会 ～サンタが若葉にやってくる～

療育指導室　児童指導員　砂　田　なぎさ

12月16日㈬に若葉病棟のお楽しみ会を行いました。ちょうどクリスマスの1週間前ということで、今回のお楽しみ会のテーマは「クリスマス」！！利用者の皆さんと一緒にデイルームの飾り付けや、クリスマスソングの練習をするなど、お楽しみ会の当日までワクワクした気持ちを持つことが出来ました。

劇団わかば

1若葉病棟では、クリスマスコンサートをテーマにトランペットの生演奏や看護師によるハンドベルの演奏、児童指導員と保育士による合奏が行われ、歌声のにぎやかな時間となりました。2若葉病棟では、カップをリズミカルに打ち鳴らし音楽を奏でる「カップス」の演奏やＮＳＤ（ナースサンタダンス）によるパフォーマンス、トランペットの生演奏で会場を沸かせました。3若葉病棟では、保育士によるイリュージョン!?や看護師によるダンス、またクリスマスソングを皆で歌って踊りました。

各病棟への巡回ゲストとして、**「劇団わかば」**によるミニミュージカル公演が行われました。クリスマスの1週間前にやってきた泥棒とサンタさん、どちらが本物のサンタクロースなのか…手に汗握る(?)展開を皆さん楽しまれていた様子です。

栄養管理室からは、クリスマスを感じられるように！と特別デザートの紹介がありました。お楽しみ会の締めには、若葉保護者会からのちょっと早いクリスマスプレゼント！ということで、とても暖かそうな毛布が利用者一人一人に届きました。皆さんとても喜ばれ、さっそく使っています。

平成27年の最後の行事として、利用者の方々、ご家族、職員皆が笑顔になれる会となりました。今年度もあと3ケ月余りではありますが、笑顔いっぱいの毎日を過ごしてもらえるようにしていきたいです。

1若葉病棟

2若葉病棟

3若葉病棟

# 患者図書室から

## 図書のリストを作りました♪

“光陰矢のごとし”。平成23年にオープンした患者図書室：「健康情報の泉」は、4月に6年目を迎えようとしています。

この間、図書室の来室者数、蔵書冊数ともに順調に増加を続け、医学図書は約1,000冊、一般図書は約　4,500冊に。さすがにこれらの本を全て本棚に置くのは不可能。本棚に収納出来ない本は、書庫に置いてあります。“皆さまにぜひ、図書室の全ての本をご紹介したい！”そのような思いから「医学図書」、「一般図書」と分け、2冊の図書リストを作りました。（下 写真）

**赤いファイル**は図書室にある「病気」や「健康」に関する本をそれぞれの病気ごとに写真入りで紹介。

**白いファイル**は小説、マンガ、絵本　etc.一般図書をそれぞれの分野ごとに書名と著者を紹介。

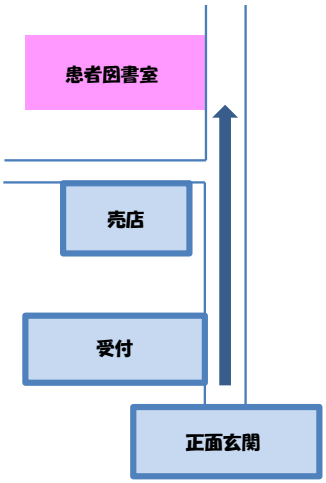
ファイルは各待合室、病棟、イートインに配布しています。図書室までの移動が困難な入院患者さんにはリストを見て頂き、病室まで本をお持ちするサービスも行っています。

「医学図書」の貸出は“入院患者さんとそのご家族のみ”（閲覧は自由）ですが、一般図書については一般の方にも貸出しを行っています。

ぜひ、一度図書リストをご覧ください。

図書リスト

患者図書室内の暖炉




## あったかくて癒されます♪

### 患者図書室の暖炉

患者図書室にはおしゃれな暖炉があります。

暖炉そばのソファーに腰掛け、薪のはぜる音を聞くととても癒されます。

図書室にお越しいただき、暖炉の火を眺めながら、ゆっくりとお過ごしになられませんか。

**■利用時間**

月～金　10時～16時

（土日・祝日をのぞく）

**■場　所**

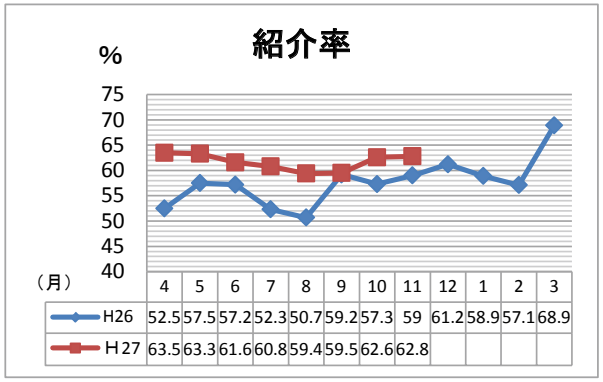
1階　正面玄関を直進

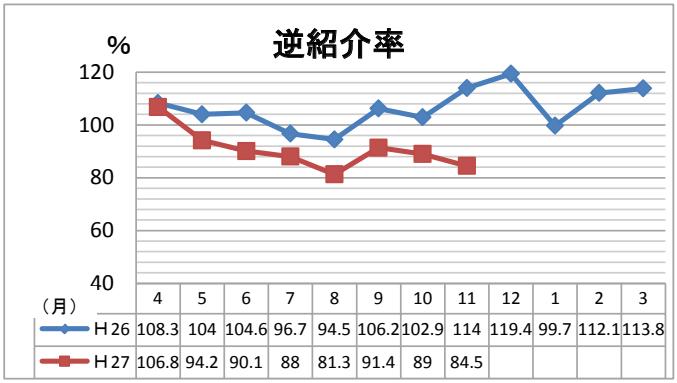
70メートル先

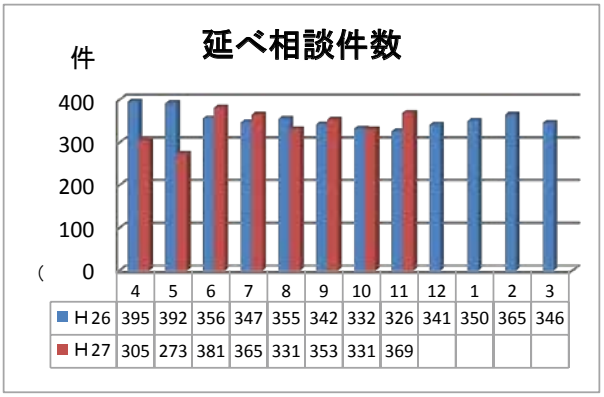
# 少し足をNova Savor ～宮島の紅葉～

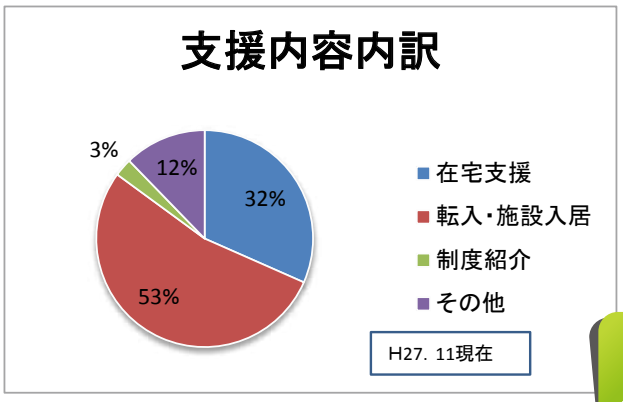
今シーズンは紅葉に適した気候で無かったため、最盛期を迎える前に立枯れてしまい、遠方から来た人は落胆しながら散策していました。当たり年の紅葉谷公園は確かに絶景ですが、ハズレ年でも、くまなく散策すれば、素晴らしい紅葉を楽しむことができます。　（T.Y）

# 地域医療連携室実績報告




## ■編集後記

皆様あけましておめでとうございます。また、広島西医療センター NEWSをご愛読頂き感謝申し上げます。

さて、今回の地域のリーダー・アラカルトは大竹市立玖波中学校長の久保忠先生の『歩く』です。日頃忙しくなかなか家の周りのことを見過ごしてしまいがちですが、時間を気にせず、何も目的を持たず散策すれば、意外と気がつかなかったことや昔のこと、また、新しいことなどが浮かんでくるかもしれません。寒い日が続いていますが、天気の良い日に少し厚着をして家の周りを散策することも、ある意味こころの贅沢なのかもしれませんね。

広島西医療センター NEWSでは、そのような1コマも情報発信していきたいと考えおりますので、どうぞ今年もよろしくお願い致します。

編集責任者　広島西医療センター事務部長　永田　隆史

# 外来診療担当医表

## 広島西医療センター

広島西医療センターホームページでも紹介しています。ご利用ください。
http://www.hosp.go.jp/~ootake

※受付時間　午前8時30分から午前11時まで　　…前号からの変更箇所　　平成28年1月1日現在

| | | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 総合 | | 1診 | 中村　浩士 | 木村　一紀 | 中村　浩士 | 生田　卓也 | 中村　浩士 | 下記の専門領域以外の新患 |
| | | 2診 | 石田隆史(高血圧)※ | 坂本直子(呼吸器)※ | 生田　卓也※ | 坂本直子(呼吸器)※ | | ※は予約制 |
| 内科 | 専門領域新患(紹介患者) | | 藤堂祐子/山中秀彦 | 倉恒　正利 | 下村　壮司 | 石田　隆史 | 藤原　仁 | ※月曜日　隔週 |
| | | | 消化器 | 腎　臓 | 血　液 | 高血圧 | 循環器 | |
| | 1診 | 消化器/血液/高血圧 | 鼻岡理恵(消化器) | 宗正昌三(血液) | ／ | 石田隆史(高血圧) | 新美寛正(血液) | 再診外来 ※予約制 |
| | 2診 | 消化器/肝 | 藤堂祐子/山中秀彦(消化器) | 広大(肝) | 山中秀彦(消化器) | 広大(肝) | 藤堂祐子(消化器) | |
| | 3診 | 呼吸器/内分泌代謝 | 広大(呼吸器) | 太田逸朗(内分泌代謝・血液) | 太田逸朗(内分泌代謝・血液) | 太田逸朗(内分泌代謝・血液) | 広大(呼吸器) | |
| | 4診 | 血　液 | 新美寛正(血液) | 下村壮司(血液) | 下村壮司(血液) | 下村壮司(血液) | 宗正昌三(血液) | |
| | 5診 | 循環器 | 藤原仁(循環器) | 中村秀志(循環器) | 藤原仁(循環器) | 中村秀志(循環器) | 藤原仁(循環器) | |
| | 6診 | 腎内/呼吸器/血液 | 倉恒正利(腎臓) | 倉恒正利(腎臓) | 坂本直子(呼吸)※ | 広大(血液) | ／ | ※は予約制 |
| 神経内科 | | 1診 | 杉浦　智仁 | 渡邉千種(物忘れ)(第2・4・5) | 渡邉　千種 | 牧野　恭子 | 檜垣　雅裕 | 予約制 |
| | | 2診 | 牧野恭子(パーキンソン病) | 杉浦　智仁(第1・3) | 杉浦　智仁 | 檜垣雅裕(頭痛) | 渡邉千種(筋疾患) | 予約制 PM |
| CAPD外来 | | | 倉恒　正利 | 倉恒　正利 | 倉恒　正利 | 倉恒　正利 | 倉恒　正利 | 予約制 PM |
| インスリンポンプ外来 | | | 太田　逸朗 | ／ | ／ | ／ | 太田　逸朗 | 予約制 PM |
| 禁煙外来 | | | ／ | 担当医 | ／ | ／ | ／ | PM2～4 予約制 |
| 小児科 | 一般外来 | 1診 | 大黒　一成 | 大黒　一成 | 大黒　一成 | 大黒　一成 | 大黒　一成 | |
| | | 2診 | 金子陽一郎 | 金子陽一郎 | 金子陽一郎 | 金子陽一郎 | 金子陽一郎 | |
| | | | 予防接種 | 慢性外来 | 乳児健診 | 慢性外来 | ／ | PM |
| | 専門外来 | 小児筋ジストロフィー | 伊藤　明子 | 伊藤明子・福田清貴 | 伊藤　明子 | 伊藤　明子 | 伊藤明子・福田清貴 | 予約制 |
| | | 重症心身障害 | 河原　信彦 | 河原　信彦 | 河原　信彦 | 河原　信彦 | 河原　信彦 | |
| | | 発達外来 | 湊崎　和範 | 湊崎　和範 | 湊崎　和範 | 湊崎　和範 | 湊崎　和範 | |
| | | 小児心身症 | 湊崎　和範 | 湊崎　和範 | 湊崎　和範 | 湊崎　和範 | 湊崎　和範 | |
| 補装具 | | | ／ | ／ | ／ | ／ | 木村(第2・4) | 予約制 |
| 外科 | | 初診 | 徳永　真和 | 今岡　泰博 | 嶋谷　邦彦 | 中島　一記 | 木村　幸男 | 金曜日交代制 |
| | | 再診 | 嶋谷　邦彦 | 中島　一記 | 徳永　真和 | 今岡　泰博 | 嶋谷/今岡/中島/徳永 | |
| 整形外科 | | 初診 | 岩﨑　洋一 | 藤原　祐輔 | 永田　義彦 | ／ | 中邑　祥博 | 木曜日手術日 |
| | | 再診 | 中邑祥博/(永田義彦) | 永田　義彦 | 岩﨑　洋一 | ／ | 永田　義彦 | |
| | | 再診 | 藤原　祐輔 | 中邑祥博/(岩﨑洋一) | 中邑祥博/(藤原祐輔) | ／ | 藤原祐輔/(岩﨑洋一) | |
| 泌尿器科 | | 1診 | 淺野耕助/藤井照護 | 淺野　耕助 | 淺野　耕助 | 瀬野　康之 | 淺野　耕助 | |
| | | 2診 | 福島　貴郁 | 藤井　照護 | 藤井　照護 | 福島　貴郁 | 藤井　照護 | |
| 産婦人科 | | | 新甲　靖 | 新甲　靖 | ／ | 新甲　靖 | ／ | 予約制 |
| 皮膚科 | | | 亀頭　晶子 | 亀頭　晶子 | ／ | 亀頭　晶子 | 亀頭　晶子 | 水曜日手術日 |
| 眼科 | | | 広大医師AM | ／ | ／ | ／ | ／ | 第2・第4月曜日 |

**●予約窓口●**

・患者さんからの直接予約・予約変更は、平日13時～16時までに予約センターへご連絡下さい。
・医療機関からの予約（CT・MRI 含む）は、地域医療連携室へご連絡下さい。
・予約窓口がわからない場合も、地域医療連携室にご相談下さい。

## 糖尿病教室を開催しております

参加ご希望の方は、あらかじめ予約をお願いいたします（当日予約可能です）。
問い合わせ先：栄養管理室(0827)57-8192

■病院代表電話番号　TEL (0827)57-7151
■予約センター(直通)　TEL (0827)59-0251
■地域医療連携室
ダイレクトイン (0827)57-7183(内線2140)
FAX　(0827)57-7701